

対応OSと必須ソフトウェア

HULFT-SAN for Linux Type L with Storage Access Kit (Ver.6.3.4)

2013年9月4日以降適用

OS	CPU	備考
Red Hat Enterprise Linux AS 3	x86	必要となる対応ストレージ、SAN 転送通信基盤製品については欄外をご確認下さい。(*1)(*2)
Red Hat Enterprise Linux ES 3		
Red Hat Enterprise Linux AS 4	Itanium	

HULFT-SAN for Linux Type L-CL with Storage Access Kit (Ver.6.3.4) (*3)

2013年9月4日以降適用

OS	CPU	備考
Red Hat Enterprise Linux AS 4	Itanium	必要となる対応ストレージ、SAN 転送通信基盤製品については欄外をご確認下さい。(*1)(*2)

(*1)HULFT-SAN with Storage Access Kit 各製品は SAN 転送通信基盤ソフトウェアとして、富士通株式会社製「XL データムーバ」の SAN 転送機能がセットになった商品となります。なお、SAN 転送用のストレージにつきましては、「XL データムーバ」に対応しているストレージとなります。

(*2)上記の対応 OS 表はメジャーバージョンのみ表記しておりますが、.(コンマ)以下のアップデートにも対応しております。

(Red Hat Enterprise Linux4Update 7(4.7)等)

(*3)TypeL-CL にてクラスタソフトと連携して HULFT-SAN をご利用になる場合には下記の対応クラスタソフトをあわせてご確認下さい。各クラスタソフトの対応 OS 等、詳細につきましては各クラスタソフトベンダーにお問い合わせください。

HULFT-SAN for UNIX Type L-CL with Storage Access Kit Ver.6 対応クラスタソフト一覧

2008年12月25日現在

OS	クラスタソフトベンダー	クラスタ製品名	対応レベル(*4)
Linux	富士通	PRIMECLUSTER 4.1~4.3	L2

(*4)対応レベルの詳細につきましては下記ホームページに掲載しておりますのでご確認下さい。

http://www.hulft.com/news/info/news_unix_cluster.html